

# コンサルタント (研修ロードマップ)

2006. 7

独立行政法人 情報処理推進機構

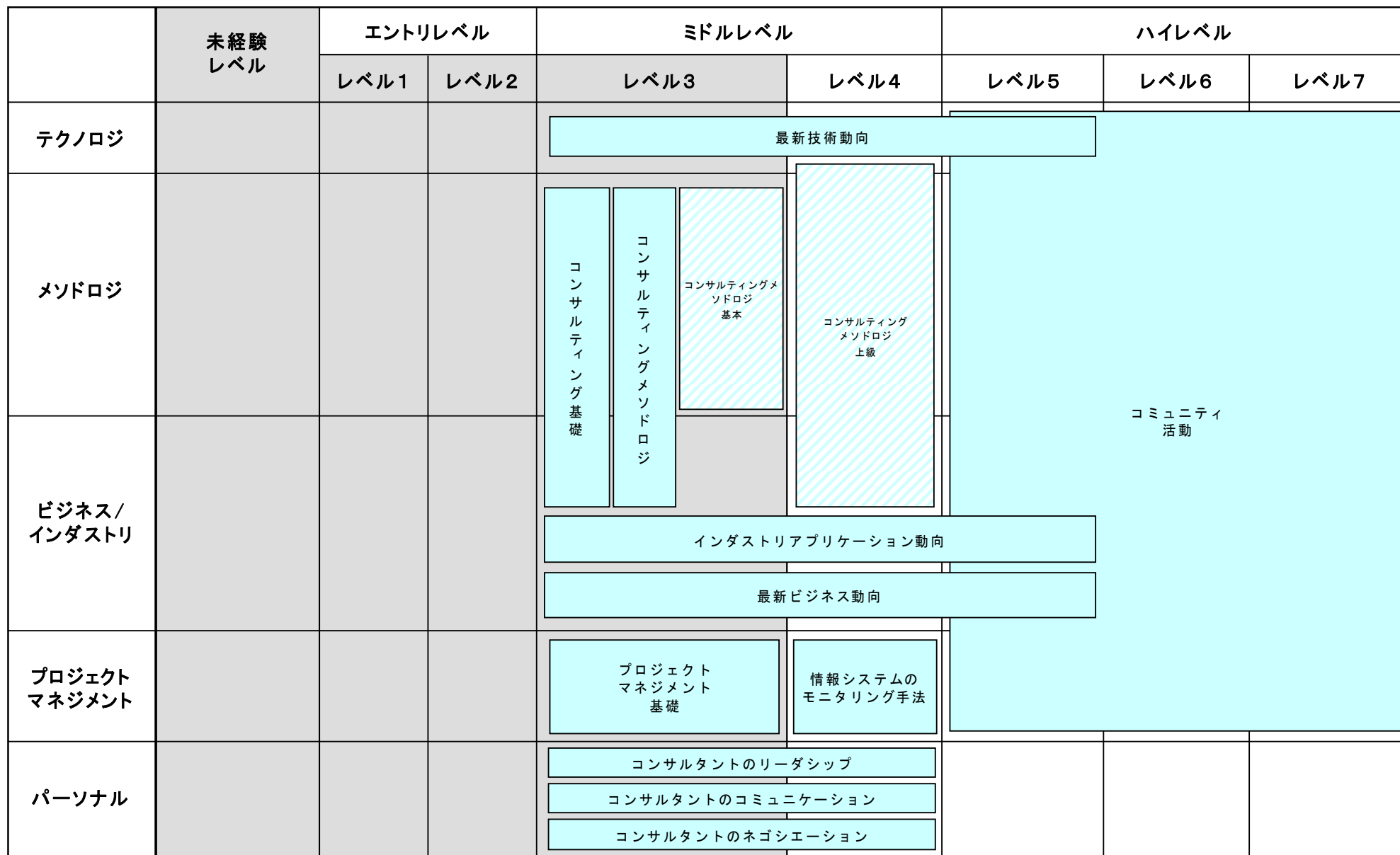
ITスキル標準センター

経済産業省

# 目次

1. 研修コース群(体系図)	2頁
2. 研修コース一覧	3頁
3. 研修コースの内容	6頁

# コンサルタントの研修コース群(体系図)\*



：職種共通

：専門分野別選択

(\*)体系図は3専門分野共通です

# コンサルタント(BT(Business Transformation))の研修コース一覧

コース群の種類		コース群	コース名	研修方法			期間		頁
				eラーニング	講義	ワークショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)	
職種共通	基礎講座	コンサルティング基礎	コンサルティング基礎	○	○	○	30	4	8
		プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント基礎	○			30		12
		コンサルティングメソドログ	コンサルティングメソドログ	○	○	○	12	2	15
	上級講座	コンサルタントのリーダーシップ	コンサルタントのリーダーシップ			○		3	18
		コンサルタントのコミュニケーション	コンサルタントのコミュニケーション			○		3	21
		コンサルタントのネゴシエーション	コンサルタントのネゴシエーション			○		3	24
		情報システムのモニタリング手法	情報システムのモニタリング手法	○	○		12	2	27
	特別講座	インダストリアプリケーション動向	インダストリアプリケーション動向	○	○		12	2	30
		最新ビジネス動向	最新ビジネス動向	○	○		6	1	33
		最新技術動向	最新技術動向		○			1	36
		コミュニティ活動	コミュニティ活動	—	—	—	—	—	39
専門分野別選択	上級講座	コンサルティングメソドログ基本	BTメソドログの基本	○	○	○	24	3	42
		コンサルティングメソドログ上級	事業戦略		○	○		3	54
			組織戦略		○	○		3	56
			ビジネスデザイン		○	○		3	58

# コンサルタント(IT)の研修コース一覧

コース群の種類		コース群	コース名	研修方法			期間		頁
				eラーニング	講義	ワークショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)	
職種共通	基礎講座	コンサルティング基礎	コンサルティング基礎	○	○	○	30	4	8
		プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント基礎	○			30		12
		コンサルティングメソドロジ	コンサルティングメソドロジ	○	○	○	12	2	15
	上級講座	コンサルタントのリーダーシップ	コンサルタントのリーダーシップ			○		3	18
		コンサルタントのコミュニケーション	コンサルタントのコミュニケーション			○		3	21
		コンサルタントのネゴシエーション	コンサルタントのネゴシエーション			○		3	24
		情報システムのモニタリング手法	情報システムのモニタリング手法	○	○		12	2	27
	特別講座	インダストリアプリケーション動向	インダストリアプリケーション動向	○	○		12	2	30
		最新ビジネス動向	最新ビジネス動向	○	○			1	33
		最新技術動向	最新技術動向		○			1	36
		コミュニティ活動	コミュニティ活動	—	—	—	—	—	39
専門分野別選択	上級講座	コンサルティングメソドロジ基本	ITコンサルティングメソドロジの基本	○	○	○	24	3	45
		コンサルティングメソドロジ上級	IT戦略		○	○		3	60
			IT運用		○	○		3	62
			ITネットワーク技術		○	○		3	65
			ITセキュリティ技術		○	○		3	68

# コンサルタント(パッケージ適用)の研修コース一覧

コース群の種類		コース群	コース名	研修方法			期間		頁
				eラーニング	講義	ワークショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)	
職種共通	基礎講座	コンサルティング基礎	コンサルティング基礎	○	○	○	30	4	8
		プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント基礎	○			30		12
		コンサルティングメソドロジ	コンサルティングメソドロジ	○	○	○	12	2	15
	上級講座	コンサルタントのリーダーシップ	コンサルタントのリーダーシップ			○		3	18
		コンサルタントのコミュニケーション	コンサルタントのコミュニケーション			○		3	21
		コンサルタントのネゴシエーション	コンサルタントのネゴシエーション			○		3	24
		情報システムのモニタリング手法	情報システムのモニタリング手法	○	○		12	2	27
	特別講座	インダストリアプリケーション動向	インダストリアプリケーション動向	○	○		12	2	30
		最新ビジネス動向	最新ビジネス動向	○	○		6	1	33
		最新技術動向	最新技術動向		○			1	36
		コミュニティ活動	コミュニティ活動	—	—	—	—	—	39
専門分野別選択	上級講座	コンサルティングメソドロジ基本	パッケージ適用の基本	○	○	○	24	3	47
			アプリケーション製品知識		○	○		3	49
			固有パッケージ製品知識	—	—	—	—	—	51
		コンサルティングメソドロジ上級	パッケージ適用プロジェクトにおける業務プロセス		○	○		3	71

コンサルタント  
研修コースの内容  
＜職種共通＞

## コンサルティング基礎（1コース）

- コンサルティング基礎



コース名	コンサルティング基礎
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、基礎的なコンサルティング技法、知的資産の管理と活用の方法、ビジネス/インダストリに係わるコンサルティング全般に関する基礎的な知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ビジネス上の課題を解決するための仮説設定、データ収集と分析、解決策の検討と策定、報告書作成、プレゼンテーションなどのコンサルティング概要を学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識、およびリーダーシップ、コミュニケーション、ネゴシエーションなど基本的なパーソナルスキルを有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 30時間 (eラーニング 1日 6時間×5日)、後半:標準日数 4日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	コンサルティングに関する基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なコンサルティングプロジェクトを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソドロジーの活用	ーコンサルティングメソドロジーの選択と活用 コンサルティングメソドロジーの比較と分析,コンサルティングメソドロジーの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
コンサルティングの実施	ーコンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーションとネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー知的資産の活用 ー専門知識の活用 業界知識の活用、業務改革関連知識の活用、専門知識と経験の活用
ITソリューション提案	ーチーム編成 コンサルティングチームの編成、活動計画の立案 ーコンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーションとネゴシエーションの実施、報告書の作成 ーソリューションの選定 ソリューション評価、顧客のソリューション購入と評価基準の明確化、提案ソリューションの選定 ーソリューションの提案 提案内容の作成、提案内容の検討、ソリューションの設計、提案書の作成、適合性の評価、購入意志の確認、後続活動の定義 ーデシジョンプロセス 組織構造の把握、デシジョンプロセスの把握、デシジョンメーカの評価確認 ー競合製品情報 業界内競合他社情報の把握、新規参入者の把握

対象スキル項目	関連する知識
コミュニケーション	<p>ー2Wayコミュニケーション 対話およびインタビューの実施、意思疎通、コミュニケーション手法の活用と実践、効果的な話し方・聞き方の実践</p> <p>ー情報伝達 プレゼンテーション技術の活用と実践、公式または非公式文書の作成、文書表現および表現力の活用と実践、メディア選択、説得技法の活用と実践</p> <p>ー情報の整理・分析・検索 状況対応能力の育成と実践、状況理解力の活用と実践、ミーティング運営技術の活用と実践</p>
ネゴシエーション	<p>ーネゴシエーション 交渉プロセスの把握と実践、効果的な交渉技法の活用と実践、信頼関係の確立、目標の設定、共通利益、論理的思考の実践、問題解決手法の活用と実践</p>

## プロジェクトマネジメント基礎（1コース）

- プロジェクトマネジメント基礎

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	プロジェクトマネジメント基礎
講座分類	□入門講座 ■基礎講座 □上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、プロジェクトマネジメントに関する基礎知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、「PMBOK」に準じて、プロジェクトの定義、組織化、計画策定、スケジュール策定、プロジェクト実施と管理、プロジェクト完了等、プロジェクトマネジメント全局面の知識領域について基礎的な内容を網羅しており、業種や分野別の特性にとらわれない汎用的なプロジェクトマネジメントの概念を学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	情報システムの開発に関する基礎的な知識を有し、プロジェクトに参加した経験を有していること
研修方法	eラーニング
期間	標準時間 30時間（1日6時間×5日）
研修修了後のスキル修得目標	プロジェクトマネジメントに関する基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なプロジェクトマネジメントを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
プロジェクトマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ープロジェクト統合マネジメント プロジェクト憲章作成、プロジェクト・スコープ記述書暫定版作成、プロジェクトマネジメント計画書作成、プロジェクト実行の指揮・マネジメント、プロジェクト作業の監視コントロール、統合変更管理、プロジェクト終結</li> <li>ープロジェクト・スコープ・マネジメント スコープ計画、スコープ定義、WBS作成、スコープ検証、スコープ・コントロール</li> <li>ープロジェクト・タイム・マネジメント アクティビティ定義、アクティビティ順序設定、アクティビティ資源見積り、アクティビティ所要期間見積り、スケジュール作成、スケジュール・コントロール</li> <li>ープロジェクト・コスト・マネジメント コスト見積り、コストの予算化、コスト・コントロール</li> <li>ープロジェクト品質マネジメント 品質計画、品質保証、品質管理</li> <li>ープロジェクト人的資源マネジメント 人的資源計画、プロジェクト・チーム編成、プロジェクト・チーム育成、プロジェクト・チームのマネジメント</li> <li>ープロジェクト・コミュニケーション・マネジメント コミュニケーション計画、情報配布、実績報告、ステークホルダー・マネジメント</li> <li>ープロジェクト・リスク・マネジメント リスク・マネジメント計画、リスク識別、定性的リスク分析、定量的リスク分析、リスク対応計画、リスクの監視コントロール</li> <li>ープロジェクト調達マネジメント 購入・取得計画、契約計画、納入者回答依頼、納入者選定、契約管理、契約終結</li> </ul>

## コンサルティングメソドロジー（1コース）

- コンサルティングメソドロジー

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	コンサルティングメソドロジー
講座分類	□入門講座 ■基礎講座 □上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、コンサルティングの基本的な方法論、コンサルティングプロセス、そのプロセスで使われるテクニックを理解し、実践するための知識の修得を目的とする。</p> <p>○ コース前半では、コンサルティング技法を使った全体的なコンサルティングプロセスの流れ、データ収集、整理、分析方法、課題の抽出と分析方法、解決策の検討と策定の進め方、問題解決プロセスの論理的かつ効果的なレポートの作成とプレゼンテーション手法や折衝方法に関する知識をeラーニング形式で学習し、後半では、コンサルティングの方法論を活用したコンサルティングプロセスの適用方法とアーキテクチャのソリューション提供に関する事例の検討をワークショップ形式で学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	「コンサルティング基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 12時間 (eラーニング:1日 6時間×2日)、後半:標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	コンサルティングメソドロジーに関する基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのリーダとして、顧客に対して迅速かつ効果的な提言を実施することができる。



対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソドロジの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ーコンサルティングメソドロジの選択と活用</li> <li>コンサルティングメソドロジの比較と分析,コンサルティングメソドロジの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</li> <li>ー分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7 S モデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
知的資産管理(Knowledge Management)活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー知的資産の管理と活用</li> <li>知的資産のデータベース化(付加価値,構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
コンサルティングの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>ーコンサルティング技術の活用</li> <li>仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーションとネゴシエーションの実施、報告書の作成</li> <li>ー顧客リレーション</li> <li>顧客リレーションの確立,維持</li> <li>ービジネスプロセス分析、設計技法</li> <li>現行ビジネスプロセスの分析,把握、新ビジネスプロセスの分析,設計、ビジネスプロセス分析手法の活用と実践</li> </ul>

## コンサルタントのリーダシップ

(1コース)

- コンサルタントのリーダシップ

コース名	コンサルタントのリーダシップ
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、あらゆるプロジェクトの成功要因である目標の設定、チーム形成、チーム内およびチーム外とのコミュニケーション、プロジェクト実施項目の作成と推進、管理、動機づけに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、中規模以上または複雑なプロジェクトを推進していく上で必要なリーダシップ、自身に対する動機づけ、チーム形成を通じたチームメンバーに対する動機づけ、対人スキル、確執の管理と合意形成について、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルティングチームのリーダとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	リーダシップに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	リーダシップに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダとして、リーダシップを発揮し、効果的なコンサルテーションを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
リーダーシップ	<p>ーリーダーシップ</p> <p>リーダーシップの基本や原則の把握と実践、チームワークとコミュニケーションの実践、プロジェクト目標の設定、プロジェクトの推進、プロジェクトの実行、プロジェクト管理、プロジェクトチームメンバーの連携、プロジェクトチームメンバーの動機付けと達成感の提供</p>

## コンサルタントのコミュニケーション (1コース)

- コンサルタントのコミュニケーション

コース名	コンサルタントのコミュニケーション
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、あらゆるプロジェクトの成功要因であるプロジェクトの関係者との効果的かつ効率的なコミュニケーションに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、中規模以上または複雑なプロジェクトを推進していく上で必要な2Wayコミュニケーション、情報の伝達、情報の処理について、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式実践的に学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルティングチームのリーダーとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	コミュニケーションに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	コミュニケーションに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、顧客責任者との意思疎通を図ることができる。

対象スキル項目	関連する知識
コミュニケーション	<p>ー2Wayコミュニケーション 対話およびインタビューの実施、意思疎通、コミュニケーション手法の活用と実践、効果的な話し方、聞き方の実践</p> <p>ー情報伝達 プレゼンテーション技術の活用と実践、公式または非公式文書の作成、文書表現および表現力の活用と実践、メディア選択、説得技法の活用と実践</p> <p>ー情報の整理・分析・検索 状況対応能力の育成と実践、状況理解力の活用と実践、ミーティング運営技術の活用と実践</p>

## コンサルタントのネゴシエーション

(1コース)

- コンサルタントのネゴシエーション



<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>コンサルタントのネゴシエーション</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、プロジェクトにおけるあらゆる状況、場面におけるネゴシエーションに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、中規模以上または複雑なプロジェクトを推進していく上で発生するあらゆる状況、場面における利害関係者とのネゴシエーションに関して、ネゴシエーションのプロセスを複数のフェーズに分け、想定される問題点を理解し、交渉相手との解決策を作成するプロセスについて、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に習得する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルティングチームのリーダーとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	ネゴシエーションに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ネゴシエーションに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、折衝が難しい交渉相手に対しても継続的な信頼関係を維持することで、合意形成を図ることができる。

対象スキル項目	関連する知識
ネゴシエーション	ーネゴシエーション 交渉プロセスの把握と実践、効果的な交渉技法の活用と実践、信頼関係の確立、目標の設定、共通利益、論理的思考の実践、問題解決手法の活用と実践

## 情報システムのモニタリング手法 (1コース)

- 情報システムのモニタリング手法

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>情報システムのモニタリング手法</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、ビジネス活動やIT活動の成果を計るため、目標達成指標および業績評価指標に対する達成度の調査分析などに関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、コンサルティングの結果として導入した情報システムや新しい仕組みが経営にどれだけの効果をもたらしているかを測定するためのモニタリング手法について学習する。</p>
受講対象者	<p>コンサルティングチームのリーダーとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル5を目指す者)</p>
受講前提	<p>情報システムの開発に関する基礎的な知識を有していること</p>
研修方法	<p>講義、またはeラーニング</p>
期間	<p>標準日数 2日（クラスルーム）、または標準時間 12時間（eラーニング 6時間×2日）</p>
研修修了後のスキル修得目標	<p>モニタリング手法に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、目標達成度、業績評価等の成果に対するモニタリングを実施することができる。</p>

対象スキル項目	関連する知識
情報システムの評価	－経営評価 バランストスコアカード手法の活用と実践、投資対効果の評価 －ITシステム評価 システム機能評価、システム性能評価、エンドユーザ評価

## インダストリアプリケーション動向

(1コース)

- インダストリアプリケーション動向

コース名	インダストリアプリケーション動向
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、日々変化していくインダストリアプリケーションに関する知識を最新に保つために、各インダストリにおける最新の動向や、現在注目を集めているインダストリ業務、ソリューションに関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、対象とする各インダストリ、または業務、ソリューションのテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持、向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p> <p>○ 当コースは、eラーニングによる提供も可能であるが、講義形式によってインダストリ業務の実演などを行うことが望ましい。</p>
受講対象者	コンサルティングチームの責任者、コンサルティングチームのリーダーとして、現在関わりのある業界や、今後関係する業界に関する知識、またその業界で使用されるインダストリアプリケーションなどに関する知識を更新する必要がある者(コンサルタントのレベル4、5、または6を目指す者)
受講前提	インダストリアプリケーションについて基本的な知識を有していること
研修方法	講義、またはeラーニング
期間	標準日数 2日(クラスルーム)、または標準時間 12時間 (eラーニング 1日 6時間×2日)
研修修了後のスキル修得目標	インダストリアプリケーションに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
ITソリューション提案	ー最新アプリケーション動向 最新インダストリアプリケーション動向の把握、最新アプリケーションパッケージ動向の把握
インダストリ知識	ーインダストリ知識 インダストリ共通業務に関する知識の活用、インダストリ固有業務に関する知識の活用、インダストリビジネス動向、技術動向、競合状況の把握、インダストリ用語、関連法規の把握と活用、インダストリ別事業環境の把握と活用、インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用、インダストリ固有業務内容の把握と活用



## 最新ビジネス動向（1コース）

- 最新ビジネス動向

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	最新ビジネス動向
講座分類	□入門講座 □基礎講座 □上級講座 ■特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、日々変化していくビジネスの最新動向に関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、主要な業界の経営課題やトピックス、国内外の最新ビジネス動向、ITビジネスに関わる技術動向等のテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持、向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p>
受講対象者	コンサルティングチームの責任者、またはコンサルティングチームのリーダーとして、担当するプロジェクトに関わる顧客の経営環境やビジネス等を把握するために、ビジネス動向に関する知識を更新する必要がある者(コンサルタントのレベル4、5、または6を目指す者)
受講前提	「コンサルティング基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、またはeラーニング
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	最新ビジネス動向に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、顧客の経営課題やビジネスを明確に理解し、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
最新ビジネス動向	<p>一最新ビジネス動向 国内外の最新ビジネス動向の把握、ITビジネスに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握</p> <p>一情報化と経営動向 業界の経営課題、情報戦略、企業会計、経営工学、エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用動向の把握、関連法規の理解と遵守</p>

## 最新技術動向（1コース）

- 最新技術動向

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	最新技術動向
講座分類	□入門講座 □基礎講座 □上級講座 ■特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、日々変化していくITサービスを取りまく最新の技術動向を理解し、実際のビジネスで応用するための知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、国内外のIT技術動向や現状、プラットフォーム、システム管理基盤、データベース、ネットワーク、分散コンピューティングシステム、セキュリティに関わる要素技術動向、アプリケーションに関わる技術動向、ビジネス特許に関わる技術動向、次世代のeビジネスとその発展に関わる技術動向などを学習する。</p> <p>○ 当コースは、必要に応じた任意のテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持/向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p>
受講対象者	コンサルティングチームの責任者、またはコンサルティングチームのリーダーとして、諸技術に関する知識を更新する必要がある者(コンサルタントのレベル4、5、または6を目指す者)
受講前提	IT技術に関する基礎知識を持ち、ソリューション構築における実務経験、実績を有していること
研修方法	講義
期間	標準日数 1日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	最新技術動向に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
ITソリューション提案	ー最新アプリケーション動向 最新インダストリアプリケーション動向の把握、最新アプリケーションパッケージ動向の把握
最新技術動向	ー最新技術動向 最新ハードウェア技術動向の把握、最新ミドルウェア技術動向の把握、最新プラットフォーム技術動向の把握、最新ネットワーク技術動向の把握、最新データベース技術動向の把握、最新セキュリティ技術動向の把握、最新システム管理技術動向の把握

## コミュニティ活動

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	コミュニティ活動
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>コミュニティ活動は、いわゆる研修とは異なり、社内組織上のラインにとらわれずに、プロフェッショナル同士が自らのスキルを切磋琢磨し、後進育成にも貢献していく社内、社外での諸活動をいう。コミュニティ活動には、社外のものとしては学会や各種団体(任意も含めて)があり、社内のものとしては社内プロフェッショナル認定制度などで認定を受けたなどの者からなる枠組みがある。これらコミュニティは、同一職種で構成されることが基本となる</p> <p>○ ハイレベルのスキルを持つ人材は、研修という枠組みで教えられるという段階を超え、コミュニティ活動を通し、他のハイレベルのプロフェッショナルとの情報交換やディスカッションを通じて研鑽を重ねる。</p> <p>○ 後進育成においても、ハイレベルのスキルに基づく論文発表や講演を通じた貢献を図る。また、特に社内のコミュニティ活動を通しては、人事、教育訓練制度の設計、構築、実行をリードし、現場のプロの立場でビジネス戦略と結びついた人材育成戦略の実現に貢献する。</p>
受講対象者	――
受講前提	――
研修方法	――
期間	――
研修修了後の スキル修得目標	――



コンサルタント  
研修コースの内容  
＜専門分野別選択＞

## コンサルティングメソドロジ基本（5コース）

（ ）内は対応する専門分野

- BTメソドロジの基本(BT)
- ITコンサルティングメソドロジ(IT)
- パッケージ適用の基本(パッケージ適用)
- アプリケーション製品知識(パッケージ適用)
- 固有パッケージ製品知識(パッケージ適用)  
(パッケージ製品提供元および関連各社の研修内容に準ずる)

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	BTメソドロジの基本
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 ■BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「コンサルティングメソドロジ」の後続コースとして、経営戦略、事業戦略、事業環境に関する見識およびBT関連知識、ビジネスモデルの選択とその移行計画の提言方法などBTコンサルティングを実施する上で必要となる専門知識、メソドロジに関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ コース前半では、ビジネス環境に対応したビジネスモデルの知識を含むBT関連知識とビジネスモデル選定メソドロジをeラーニング形式で学習する。後半では、講義形式およびワークショップ形式でBT支援コンサルティングの実践を学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、経営戦略や事業戦略関連のコンサルティングを専門に実施する者(コンサルタント(専門分野:BT)のレベル4を目指す者)
受講前提	「コンサルティングメソドロジ」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 24時間 (eラーニング 1日 6時間×4日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	BT メソドロジに関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、顧客の業務改革、将来ビジネスモデルの策定、実行計画立案の支援を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	<p>ー知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</p>
コンサルティングの実施	<p>ービジネスプロセス分析、設計技法 現行ビジネスプロセスの分析,把握、新ビジネスプロセスの分析,設計、ビジネスプロセス分析手法の活用と実践</p> <p>ービジネスプロセス分析、設計技法 現行ビジネスプロセスの分析,把握、新ビジネスプロセスの分析,設計、ビジネスプロセス分析手法の活用と実践</p>

対象スキル項目	関連する知識
業務改革計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ビジネス環境分析 外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競争上の位置(リーダー、チャレンジャ、フォロワ、ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)の分析</li> <li>－ビジネス動向の把握と分析</li> <li>－ニーズ&amp;ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析</li> <li>－ビジネスモデルの検討と構築 ビジネス環境分析、ビジネス戦略(経営戦略、事業戦略)の把握、ビジネスモデル立案のためのフレームワークの検討、バリューチェーンの再構築、ビジネスモデルの構築</li> <li>－BTコンサルティングメソッドの選択と活用 コンサルティングメソッドの比較と分析、選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成</li> <li>－コンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション、ネゴシエーションの実施、報告書の作成</li> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPMモデル)、経験カーブ、3C分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> <li>－知的資産の活用(業務改革)</li> <li>－専門知識の活用(業務改革) インダストリー知識の活用、業務改革関連知識の活用、経営戦略立案策定の手順と技法、マトリックス組織、事業部制、プロジェクト制、経営戦略と企業の組織文化、ビジネスプロセスに関する知識、ビジネスプロセス分析、業務の新全体像と投資対象の選定</li> </ul>

コース名	ITコンサルティングメソドロジの基本
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input checked="" type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「コンサルティングメソドロジ」の後続コースとして、「コンサルティング基礎」で修得したコンサルティングの基礎的なアプローチとITに関するコンサルティングモデルを活用し、ITに関連する課題解決のためのコンサルティングメソドロジに関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ コース前半では、ITプロセスモデルやコンサルティングモデルの基礎知識をeラーニング形式で学習する。後半では、ビジネスのニーズと目的に沿ったITインフラとサービスのあるべき姿を描き、ITプロセス、組織、インフラ技術を駆使したIT実施計画を策定し、ビジネスケースと移行計画の提言を行うための実践的知識を講義形式およびワークショップ形式で学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、IT分野のコンサルティングを専門に実施する者(コンサルタント(専門分野:IT)のレベル4を目指す者)
受講前提	「コンサルティングメソドロジ」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 24時間 (eラーニング 1日 6時間×4日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	IT コンサルティングメソドロジに関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、IT実施計画を策定し、ビジネスケースと移行計画の立案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
コンサルティングの実施	ービジネスプロセス分析、設計技法 現行ビジネスプロセスの分析,把握、新ビジネスプロセスの分析,設計、ビジネスプロセス分析手法の活用と実践
IT戦略の策定	ービジネス環境分析 外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競走上の位置(リーダー,チャレンジャ,フォロワ,ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)の分析 ーニーズ & ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析 ー情報システム構想の策定 情報戦略課題と情報システム化構想 ーITコンサルティングメソドロジの選択と活用 コンサルティングメソドロジの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 ーコンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPMモデル)、経験カーブ、3C分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析 ー知的資産の活用(IT戦略策定) ー専門知識の活用(IT戦略策定) インダストリ知識の活用、IT関連知識の活用、IT 戦略関連知識の活用、情報システムの応用例、ITを利用したビジネスモデル

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	パッケージ適用の基本
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 □BT □IT ■パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「コンサルティングメソドロジー」の後続コースとして、IT動向分析やニーズ&amp;ウォンツ分析、Fits &amp; Gap分析などの分析手法とパッケージ導入手法に関する知識の習得を目的とする。</p> <p>○ コース前半では、パッケージ導入を、構想、計画、分析と選定、業務設計とシステム設計のフェーズに分類し、フェーズ毎の導入手法をeラーニング形式で学習する。後半では、講義形式およびワークショップ形式でパッケージ適用の実践を学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、特定パッケージの適合性評価および適用のコンサルティングを専門に実施する者(コンサルタント(専門分野:パッケージ適用)のレベル4を目指す者)
受講前提	「コンサルティングメソドロジー」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 24時間 (eラーニング 1日 6時間×4日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	パッケージ導入手法に関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、パッケージを適用した効果的な提案を実施することができる。



対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー 知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
コンサルティングの実施	ー ビジネスプロセス分析、設計技法 現行ビジネスプロセスの分析,把握、新ビジネスプロセスの分析,設計、ビジネスプロセス分析手法の活用と実践
パッケージの適合性評価と適用	ー パッケージの適合性評価(Fit&Gap分析)とパッケージ適用 適用する情報技術の調査、適用する情報技術の検討、適用する情報技術と業務機能との整合性の検討、ビジネス要求に適したビジネス支援パッケージ候補の洗出し、最適なパッケージの選定 ー パッケージ導入メソッドの理解と実践 導入検討の留意点とテストの必要性の検討、導入検討の留意点検討、費用と投資効果の予測、情報戦略との整合性の検証、教育と訓練に対する基本方針の明確化 ー コンサルティングメソッドの選択と活用 コンサルティングメソッドの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用 ー コンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー 分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPMモデル)、経験カーブ、3C分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析 ー 専門知識の活用(パッケージ) インダストリー知識の活用、IT関連知識の活用、代表的なアプリケーション製品知識(ERP,SCM,CRM等)、パッケージ適用事例知識、組織改革におけるパッケージ適用事例知識、インフラ支援パッケージ適用事例知識

コース名	アプリケーション製品知識
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input type="checkbox"/> IT <input checked="" type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「パッケージ適用の基本」の後続として、パッケージ適用コンサルティングを実施する際に必要となるアプリケーション製品に関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ コース前半では、ERP、SCM、CRM等の領域における代表的なアプリケーションパッケージについて、それらの製品の特徴とパッケージ導入手法、パッケージ製品選定に必要な比較項目、各パッケージベンダや製品の設計思想の概要などを講義形式で学習する。後半では、ワークショップ形式でアプリケーション製品に対応した導入計画の立案を実践的に学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、特定パッケージの適合性評価および適用のコンサルティングを専門に実施する者(コンサルタント(専門分野:パッケージ適用)のレベル4を目指す者)
受講前提	「パッケージの適用の基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	アプリケーション製品に関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、アプリケーション製品の選定に関する提言や導入計画の立案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
パッケージの適合性評価と適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー最新業務パッケージ動向 最新業務パッケージ技術動向の把握、最適業務パッケージ選定</li> <li>ーパッケージの適合性評価(Fit&amp;Gap分析)とパッケージ適用 適用する情報技術の調査、適用する情報技術の検討、適用する情報技術と業務機能との整合性の検討、ビジネス要求に適したビジネス支援パッケージ候補の洗出し、最適なパッケージの選定</li> <li>ーパッケージ導入メソッドロジの理解と実践 導入検討の留意点とテストの必要性の検討、導入検討の留意点検討、費用と投資効果の予測、情報戦略との整合性の検証、教育と訓練に対する基本方針の明確化</li> <li>ー専門知識の活用(パッケージ) インダストリ知識の活用、IT関連知識の活用、代表的なアプリケーション製品知識(ERP,SCM,CRM等)、パッケージ適用事例知識、組織改革におけるパッケージ適用事例知識、インフラ支援パッケージ適用事例知識</li> </ul>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	固有パッケージ製品知識
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 □BT □IT ■パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「パッケージ適用の基本」の後続として、パッケージ適用を実施する際に必要となるERP、SCM、CRM等における特定のパッケージ製品およびその導入手法に関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースは、各製品提供会社などより、製品単位で個別に研修サービスが提供されるため、受講者は必要に応じて受講する製品と関連する研修サービスを選択する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、特定パッケージの適合性評価および適用のコンサルティングを専門に実施する者(コンサルタント(専門分野:パッケージ適用)のレベル4を目指す者)
受講前提	「パッケージ適用の基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	パッケージ製品提供元および関連各社の研修内容に準ずる
期間	パッケージ製品提供元および関連各社の研修内容に準ずる
研修修了後のスキル修得目標	固有パッケージ製品に関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、固有パッケージの適合性評価や導入計画の立案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
パッケージの適合性評価と適用	ー最新業務パッケージ動向 最新業務パッケージ技術動向の把握、最適業務パッケージ選定
固有パッケージ製品知識	ー特定のパッケージ製品知識

## コンサルティングメソドロジ上級（8コース）

（ ）内は対応する専門分野

- 事業戦略(BT)
- 組織戦略(BT)
- ビジネスデザイン(BT)
- IT戦略(IT)
- IT運用(IT)
- ITネットワーク技術(IT)
- ITセキュリティ技術(IT)
- パッケージ適用プロジェクトにおける業務プロセス(パッケージ適用)

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	事業戦略
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 ■BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「BTメソッドの基本」の上位コースとして、BTプロジェクトの中で特に事業戦略立案支援に必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、BTコンサルティングにおける経営と事業戦略に関する専門知識、外部環境分析、ビジネスモデルの調査、将来動向調査、現行の事業戦略分析などの実施、新しい事業戦略の策定、実施計画の立案を学習する。</p> <p>○ コース前半では、経営と事業戦略に関する専門知識および分析手法を講義形式で学習する。後半では、事業分析から新しい事業戦略案の策定、移行実施計画の作成をワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:BT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「BTメソッドの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	事業戦略立案支援に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー 知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
業務改革計画の策定	ー ビジネス環境分析 外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競争上の位置(リーダ,チャレンジャ,フォロワ,ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)の分析 ー ビジネス動向の把握と分析 ー ニーズ&ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析 ー ビジネスモデルの検討と構築 ビジネス環境分析、ビジネス戦略(経営戦略,事業戦略)の把握、ビジネスモデル立案のためのフレームワークの検討、バリューチェーンの再構築、ビジネスモデルの構築 ー 経営戦略、事業戦略の把握 ー BTコンサルティングメソドロジの選択と活用 コンサルティングメソドロジの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 ー 顧客リレーション 顧客リレーションの確立,維持 ー コンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー 分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析 ー 知的資産の活用(業務改革) ー 専門知識の活用(業務改革) インダストリ知識の活用、業務改革関連知識の活用、経営戦略立案策定の手順と技法、マトリックス組織,事業部制,プロジェクト制、経営戦略と企業の組織文化、ビジネスプロセスに関する知識、ビジネスプロセス分析、業務の新全体像と投資対象の選定



<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	組織戦略
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 ■BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「BTメソドロジの基本」の上位コースとして、BTプロジェクトの中で特に組織改革支援に必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、BTコンサルティングにおける、グループマネジメント、チェンジマネジメントの知識の習得、新しい組織とプロセス改善案の策定、実施計画の立案を学習する。</p> <p>○ コース前半では、グループマネジメント、チェンジマネジメントなど組織改革に関連する知識を講義形式で学習する。後半では、事業分析から新しい組織改革案を策定、実施計画の作成をワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:BT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「BTメソドロジの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	組織戦略改革支援に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	<p>ー知的資産の管理と活用</p> <p>知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</p>
業務改革計画の策定	<p>ービジネス環境分析</p> <p>外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競争上の位置(リーダ,チャレンジャ,フォロワ,ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)の分析</p> <p>ービジネス動向の把握と分析</p> <p>ーニーズ&amp;ウォンツ分析</p> <p>ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析</p> <p>ービジネスモデルの検討と構築</p> <p>ビジネス環境分析、ビジネス戦略(経営戦略,事業戦略)の把握、ビジネスモデル立案のためのフレームワークの検討、バリューチェーンの再構築、ビジネスモデルの構築</p> <p>ー経営戦略、事業戦略の把握</p> <p>ーBTコンサルティングメソッドの選択と活用</p> <p>コンサルティングメソッドの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成</p> <p>ー顧客リレーション</p> <p>顧客リレーションの確立,維持</p> <p>ーコンサルティング技術の活用</p> <p>仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p> <p>事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</p> <p>ー知的資産の活用(業務改革)</p> <p>ー専門知識の活用(業務改革)</p> <p>インダストリー知識の活用、業務改革関連知識の活用、経営戦略立案策定の手順と技法、マトリックス組織,事業部制,プロジェクト制、経営戦略と企業の組織文化、ビジネスプロセスに関する知識、ビジネスプロセス分析、業務の新全体像と投資対象の選定</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	ビジネスデザイン
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 ■BT □IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「BTメソドロジの基本」の上位コースとして、BTプロジェクトの中で特にビジネスデザインを実施する上で必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ビジネスデザインアプローチ、論理的なビジネスプロセスモデル設計、物理的なビジネスプロセスモデル設計という一連のビジネスデザインを学習する。</p> <p>○ コース前半では、ビジネスプロセスデザインアプローチ、ビジネスシナリオの作成、ビジネスプロセス要件定義、要件定義に基づく新規ビジネスプロセスの設計、ビジネスプロセスを支える組織設計やテクノロジーの活用などを講義形式で学習する。後半では、企業戦略や組織改革を加味したビジネスモデルの設計と実施計画の作成をワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:BT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「BTメソドロジの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ビジネスデザインに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
業務改革計画の策定	ービジネス環境分析 外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競争上の位置(リーダー,チャレンジャ,フォロワ,ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)の分析 ービジネス動向の把握と分析 ーニーズ&ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析 ービジネスモデルの検討と構築 ビジネス環境分析、ビジネス戦略(経営戦略,事業戦略)の把握、ビジネスモデル立案のためのフレームワークの検討、バリューチェーンの再構築、ビジネスモデルの構築 ー経営戦略、事業戦略の把握 ーBTコンサルティングメソッドの選択と活用 コンサルティングメソッドの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 ー顧客リレーション 顧客リレーションの確立,維持 ーコンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析 ー知的資産の活用(業務改革) ー専門知識の活用(業務改革) インダストリー知識の活用、業務改革関連知識の活用、経営戦略立案策定の手順と技法、マトリックス組織,事業部制,プロジェクト制、経営戦略と企業の組織文化、ビジネスプロセスに関する知識、ビジネスプロセス分析、業務の新全体像と投資対象の選定

コース名	IT戦略
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input checked="" type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「ITコンサルティングメソドロジの基本」の上位コースとして、ITコンサルティングプロジェクトの中で特にIT戦略支援に必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ITコンサルティングにおける情報システム構想の策定と基本計画の策定を含むIT戦略に関する専門知識全般とその活用を学習する。</p> <p>○ コース前半では、IT戦略に関する知識を講義形式で学習する。後半では、IT戦略の前提となるIT現状評価を行い、これに基づく基本設計、実施計画立案などをワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:IT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「ITコンサルティングの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	IT 戦略支援に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
IT戦略の策定	ービジネス環境分析 外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競争上の位置(リーダー、チャレンジャ、フォロワ、ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)の分析 ー最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握、アプリケーションに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握 ーニーズ&ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析 ー情報システム構想の策定 情報戦略課題と情報システム化構想 ーITコンサルティングメソドロジの選択と活用 コンサルティングメソドロジの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 ー顧客リレーション 顧客リレーションの確立,維持 ーコンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析 ー知的資産の活用(IT戦略策定) ー専門知識の活用(IT戦略策定) インダストリ知識の活用、IT関連知識の活用、IT戦略関連知識の活用、情報システムの応用例、ITを利用したビジネスモデル ー情報システム基本計画の策定 現行業務からの機能と情報の洗い出し、中長期計画の策定、業務開発、業務改善、業務改革対象の優先順位設定及び現実性の検証、情報システムの管理方式と管理体制、情報システム障害リスクの分析と障害対策レベルの設定、情報システムの保守と運用方式、情報システムの保守と運用体制、情報システム開発のフレームワーク

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	IT運用
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 □BT ■IT □パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「ITコンサルティングメソドロジーの基本」の上位コースとして、ITコンサルティングプロジェクトの中で特にIT運用支援に必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ITコンサルティングにおける運用環境構築、業務プロセス改善、システム最適化、サービスレベル管理、ヘルプデスク運用、障害対策および復旧プランを含む運用手法とその活用を学習する。</p> <p>○ コース前半は、IT運用の知識を講義形式で学習する。後半では、ケーススタディによる現状分析を行い、運用管理システムの策定と最適なシステム製品の選定、構築に関する提言、さらに運用におけるヘルプデスクの検討や障害対策および復旧プランの立案をワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:IT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「ITコンサルティングの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	IT 運用支援に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	ー 知的資産の管理と活用 知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許
IT戦略の策定	ー 最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握、アプリケーションに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握 ー ニーズ&ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析 ー 情報システム構想の策定 情報戦略課題と情報システム化構想 ー ITコンサルティングメソドロジの選択と活用 コンサルティングメソドロジの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成 ー 顧客リレーション 顧客リレーションの確立維持 ー コンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成 ー 分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析 ー 知的資産の活用(IT戦略策定) ー システム運用管理設計 キャパシティ管理の適用、問題管理の適用、変更管理の適用、回復管理の適用、災害対策の適用、構成管理の適用、インフラ設計、エンドユーザ支援設計、資産管理の適用、災害対策、サービスレベル設計 ー 障害対策手法 障害監視、問題判別、影響分析、障害回復、影響分析 ー 情報システム基本計画の策定 現行業務からの機能と情報の洗い出し、中長期計画の策定、業務開発、業務改善、業務改革対象の優先順位設定および現実性の検証、情報システムの管理方式と管理体制、情報システム障害リスクの分析と障害対策レベルの設定、情報システムの保守と運用方式、情報システムの保守と運用体制、情報システム開発のフレームワーク



	<p>一問題管理</p> <p>障害影響度評価分析、障害履歴管理、障害特定、原因診断、障害修復、回避策策定、回避作業計画立案、回避に伴う調査、現象定義、データ収集、測定の実施、問題管理ツールの活用と実践、マルチベンダまたはマルチプラットフォーム環境における問題特定手法の活用と実践</p>
--	--

コース名	ITネットワーク技術
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input checked="" type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「ITコンサルティングメソドロジの基本」の上位コースとして、ITコンサルティングプロジェクトの中で特にネットワーク技術支援に必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、現状ネットワーク分析、ネットワーク技術調査、現状ネットワーク評価に基づく新ネットワーク要件の策定およびネットワーク構成の立案、移行計画を学習する。</p> <p>○ コース前半では、ネットワーク技術知識を講義形式で学習する。後半では、実際にネットワークの課題に対するコンサルティング作業をワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:IT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「ITコンサルティングの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	IT ネットワーク技術支援に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
IT戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握、アプリケーションに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握</li> <li>－ニーズ&amp;ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析</li> <li>－情報システム構想の策定 情報戦略課題と情報システム化構想</li> <li>－ITコンサルティングメソドロジの選択と活用 コンサルティングメソドロジの比較と分析、選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成</li> <li>－顧客リレーション 顧客リレーションの確立・維持</li> <li>－コンサルティング技術の活用 仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション、ネゴシエーションの実施、報告書の作成</li> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析、</li> <li>－知的資産の活用(IT戦略策定)</li> <li>－専門知識の活用(IT戦略策定) インダストリー知識の活用、IT関連知識の活用、IT戦略関連知識の活用、情報システムの応用例、ITを利用したビジネスモデル</li> <li>－TCP/IP ネットワーク技術 TCP/IPの成り立ち、仕組み、構成、QoS の考え方</li> <li>－システムプラットフォーム技術 オペレーティングシステム技術の活用と実践(メインフレーム、分散機(オフコン)、UNIX、WINDOWS、Linuxなど)</li> <li>－システム運用管理設計 キャパシティ管理の適用、問題管理の適用、変更管理の適用、回復管理の適用、災害対策の適用、構成管理の適用、インフラ設計、エンドユーザ支援設計、資産管理の適用、災害対策、サービスレベル設計</li> <li>－ネットワークシステムの運用と保守 利用者対応、保守または更新の方針と計画作成、保守または更新の実施、バックアップとデータ回復、ネットワークシステム構成管理</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
IT戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ーネットワークシステムの技術動向 大規模系ネットワークキング(ブロードバンドISDN,光ネット,電話用ケーブル,無線ネットワーク,基幹網)技術動向の把握、高速LAN(DQDB,ギガビットイーサネット)技術動向の把握、通信サービス(ギガビットイーサネット,常時接続サービス,地域IP網)技術動向の把握</li> <li>ーネットワークシステムの構築とテスト 導入作業,テストと評価、移行作業、ネットワークセキュリティ構築、不正侵入,ファイル改ざん検知,分析,対応、ネットワーク検証ツールの活用、問題判別、トラブル解決手法の活用と実践</li> <li>ーネットワークシステムの要件定義 アプリケーションの要件分析、現行ネットワークシステムの分析、作業範囲の確定、ネットワークシステム要件の定義</li> <li>ー障害対策手法 障害監視、問題判別、影響分析、障害回復、影響分析の活用と実践</li> <li>ー情報システム基本計画の策定 現行業務からの機能と情報の洗い出し、中長期計画の策定、業務開発、業務改善、業務改革対象の優先順位設定及び現実性の検証、情報システムの管理方式と管理体制、情報システム障害リスクの分析と障害対策レベルの設定、情報システムの保守と運用方式、情報システムの保守と運用体制、情報システム開発のフレームワーク</li> <li>ー製品知識(プラットフォーム) プロセッサ、記憶装置、印刷装置、オペレーティングシステム、データベースシステム、トランザクションシステム、ミドルウェアの評価と選定</li> </ul>

コース名	ITセキュリティ技術
研修コースの内容	
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> BT <input checked="" type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「ITコンサルティングメソドロジの基本」の上位コースとして、ITコンサルティングプロジェクトの中で特にセキュリティ技術支援に必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、セキュリティポリシーの策定と導入支援、情報資産のリスク分析、脅威と対策の明確化、管理体制の評価、見直し案の策定を学習する。</p> <p>○ コース前半では、セキュリティ技術の知識を講義形式で学習する。後半では、総合的な情報セキュリティマネジメントをワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:IT)のレベル5を目指す者)
受講前提	「ITコンサルティングの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	IT セキュリティ技術支援に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
IT戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握、アプリケーションに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握</li> <li>ーニーズ&amp;ウォンツ分析 ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析</li> <li>ー情報システム構想の策定 情報戦略課題と情報システム化構想</li> <li>ー顧客リレーション 顧客リレーションの確立・維持</li> <li>ー専門知識の活用(IT戦略策定) インダストリー知識の活用、IT関連知識の活用、IT戦略関連知識の活用、情報システムの応用例、ITを利用したビジネスモデル</li> <li>ーシステム管理手法 サービス水準管理、問題管理、パフォーマンスとキャパシティ管理、変更管理、資源管理、回復管理、構成管理、運用管理、セキュリティ管理製品の評価と選定</li> <li>ーセキュリティとプライバシー セキュリティ対策(機密保護改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウィルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング)、プライバシー保護、リスク管理、ガイドラインと関連法規</li> <li>ーセキュリティの見直し 技術情報の収集と評価、運用上の問題点整理と分析、技術上の問題点整理と分析、新たなリスクの整理と分析、セキュリティポリシー更新</li> <li>ーセキュリティ技術動向 シングルサインオン技術動向の把握、PKI 技術動向の把握、セキュリティアドミニストレーション技術動向の把握、侵入防止技術動向の把握、暗号化技術の把握と活用、電子署名技術の把握と活用、ファイアウォール技術の把握と活用</li> <li>ーセキュリティ設計 耐監査性設計、機密性設計、可用性設計、完全性設計、識別と認証設計、PKI 技術の適用、暗号化技術の適用、ネットワークセキュリティ技術の適用、その他</li> <li>ーシステム監査 システム監査の基礎、システム監査の計画、システム監査の実施と報告</li> <li>ー企業システムへの脅威 脅威の動機と種類の把握と活用</li> </ul>

IT戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"><li>ー情報システム基本計画の策定 現行業務からの機能と情報の洗い出し、中長期計画の策定、業務開発、業務改善、業務改革対象の優先順位設定及び現実性の検証、情報システムの管理方式と管理体制、情報システム障害リスクの分析と障害対策レベルの設定、情報システムの保守と運用方式、情報システムの保守と運用体制、情報システム開発のフレームワーク</li><li>ー製品知識(プラットフォーム) プロセッサ、記憶装置、印刷装置、オペレーティングシステム、データベースシステム、トランザクションシステム、ミドルウェアの評価と選定</li></ul>
---------	---

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	パッケージ適用プロジェクトにおける業務プロセス
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	□コンサルタント共通 □BT □IT ■パッケージ適用
コース概要	<p>当コースは、「アプリケーション製品知識」の上位コースとして、パッケージ適用コンサルティングプロジェクトの中で経営と事業戦略に関する専門知識、外部環境分析、現行の事業戦略分析などに関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、業務プロセスの見直しの構想を立案するための経営戦略、事業戦略、事業環境に関する見識、ビジネス環境分析や事業戦略分析、分析結果に基づく対象スコープと導入方針についての提言などを学習する。</p> <p>○ コース前半では、経営と事業戦略に関する専門知識、外部環境分析、現行の事業戦略分析などの知識を講義形式で学習する。コース後半では、経営と事業戦略に沿った業務プロセスを構築するためのパッケージ活用をワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:パッケージ適用)のレベル5を目指す者)
受講前提	「アプリケーション製品知識」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 3日 (クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	パッケージ適用プロジェクトにおける業務プロセスに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。



対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	<p>ー知的資産の管理と活用</p> <p>知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</p>
パッケージの適合性評価と適用	<p>ービジネス環境分析</p> <p>外部環境分析、内部環境分析、業界分析、競争上の位置(リーダー,チャレンジャ,フォロワ,ニッチャ)の分析、事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)の分析</p> <p>ー最新業務パッケージ動向</p> <p>最新業務パッケージ技術動向の把握、最適業務パッケージ選定</p> <p>ーニーズ&amp;ウォンツ分析</p> <p>ビジネス要求の確認、現行業務の調査と分析、経営要求の確認、現行組織体制の調査と分析、現行インフラの調査と分析</p> <p>ーパッケージの適合性評価(Fit&amp;Gap分析)とパッケージ適用</p> <p>適用する情報技術の調査、適用する情報技術の検討、適用する情報技術と業務機能との整合性の検討、ビジネス要求に適したビジネス支援パッケージ候補の洗出し、最適なパッケージの選定</p> <p>ーパッケージ導入メソッドの理解と実践</p> <p>導入検討の留意点とテストの必要性の検討、導入検討の留意点検討、費用と投資効果の予測、情報戦略との整合性の検証、教育と訓練に対する基本方針の明確化</p> <p>ーコンサルティングメソッドの選択と活用</p> <p>コンサルティングメソッドの比較と分析,選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</p> <p>ー顧客リレーション</p> <p>顧客リレーションの確立,維持</p> <p>ーコンサルティング技術の活用</p> <p>仮説設定、データ収集、インタビューの実施、セッションの運営、データ分析、検証、コミュニケーション,ネゴシエーションの実施、報告書の作成</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p> <p>事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</p> <p>ー専門知識の活用(パッケージ)</p> <p>インダストリー知識の活用、IT関連知識の活用、代表的なアプリケーション製品知識(ERP、SCM、CRM等)、パッケージ適用事例知識、組織改革におけるパッケージ適用事例知識、インフラ支援パッケージ適用事例知識</p>